

No. 1518

# 内閣制度百年記念式典

— 首相官邸 —

昭和60年12月22日は内閣制度が発足して満百年目にあたります。

これを記念して政府は首相官邸に天皇陛下をお迎えして「内閣制度創始百周年記念式典」を行ないました。陛下が首相官邸を訪ねられたのは、初めてのこと。式典には天皇陛下、首相を始め歴代首相、閣僚、衆参両院議長など180名が出席。

中曽根首相の式辞のあと天皇陛下より「百年の歳月を重ねた内閣はもとより、多くの先人や国民のたゆみない努力の成果である」とのお言葉がありました。

明治、大正、昭和と国政の中枢を担う内閣制度はますます重要性を増すようです。

# 新年を占う

— 静岡・袋井 —

静岡県袋井市は平野に拓けた街で、米をはじめ麦や野菜などの生産が盛んで、温和な気候に恵まれたところです。

ここは又、遠州三山と称する可睡斎、法多山、油山寺で名高いところでもあります。

その一つ可睡斎は12月15日火防大祭が行なわれるところで知られています。この大祭、秋葉三尺坊大権現に対し、一年間の感謝をささげ、さらに翌年の火防守護を祈願するものでお祭りの見ものは僧が行う寒中の水ごりと火わたりです。

水ごりは大祭が行なわれる6日前から早朝4時、昼11時、夕方4時の3回、毎日行なうのです。

そして、一年の無事を願う人々のため、大祈念を行ないます。火わたりは無病息災、家内安全を願って人々は渡ります。

こうして新年を迎えるのです。